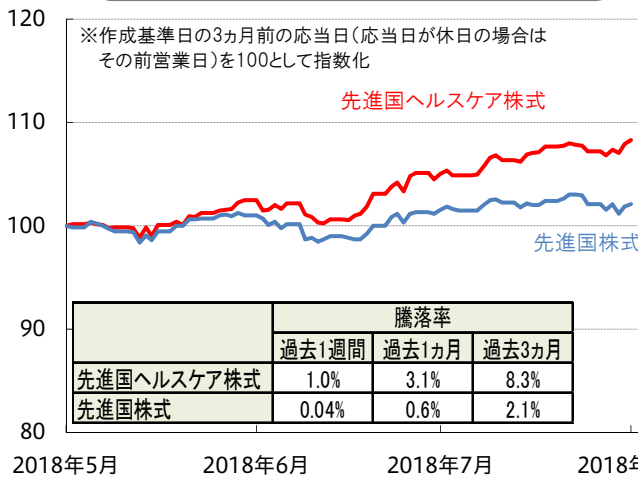


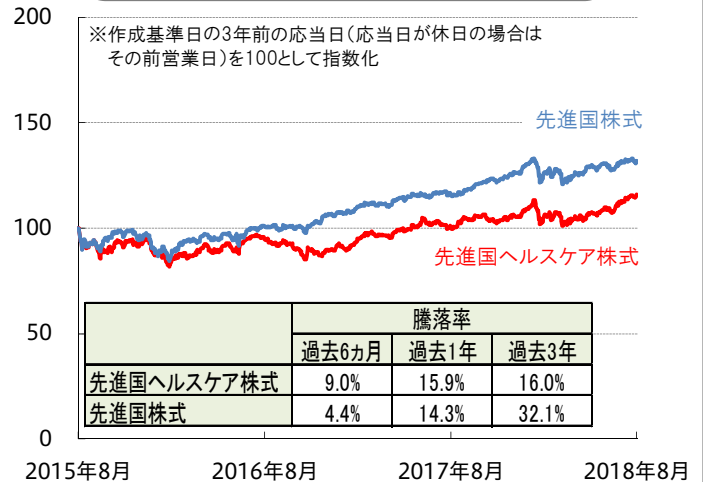
# ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

## ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

銘柄名	騰落率
テバファーマスーティカル・インダストリーズ*	7.7%
カーディナルヘルス	7.2%
アメリソースパーゲン	7.0%
インサイト	6.8%
オーロラ・カンナビス	6.7%

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

銘柄名	騰落率	業種別												
		先進国ヘルスケア株式	先進国ヘルスケア株式	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	電気通信サービス	公益		
1株当たり利益成長率(年率、%) 実績→3期先予想		17.1	20.4	39.1	14.2	15.3	15.9	10.8	15.9	21.9	16.9	7.9		
今期予想PER(倍)		16.2	17.3	16.1	13.7	16.3	17.5	19.2	12.2	19.5	12.4	16.0		
3期先予想PER(倍)		13.6	14.6	12.5	12.5	13.8	14.2	16.4	10.3	15.8	11.2	14.6		

(出所)Bloomberg

\*「1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想」の計算において、実績EPSが非常に小さい場合、1株当たり利益成長率が非常に高く表示される場合があります。

### ■マーケット・コメント

先週は、先進国株式はほぼ変わらず、先進国ヘルスケア株式は上昇しました。

- 先進国株式は、トルコと米国の関係悪化が懸念されたものの、米中貿易摩擦に対する懸念が後退したことなどから、週間を通してみるとほぼ変わらずとなりました。セクター別では、エネルギーなどが下落した一方、公益事業などが上昇しました。
- 先進国ヘルスケア株式は上昇しました。セクター別では、ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスやヘルスケアテクノロジーなどが上昇しました。

### ■ヘルスケア・バイオ関連トピック 「エピペンの初のジェネリック薬が承認」

イスラエルのジェネリック薬大手のテバファーマスーティカル・インダストリーズは、急性アレルギー反応の応急措置に使われる自己注射薬「エピペン」の初のジェネリック薬について、米国食品医薬品局(FDA)から承認を受けました。エピペンは米マイランが製造・販売していますが、競合薬はほとんどないとされており、同社が2016年までに行った値上げの結果、その価格は2009年と比べて約6倍となっており、大きな問題になっています。このため、低価格のジェネリック薬の登場が期待されていました。今回の承認により、患者はより低価格で同様の効果の薬を使うことができるようになります。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」先進国ヘルスケア株式：MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、先進国株式：MSCI ワールド・インデックスはいずれもトータルリターン(現地通貨ベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。

「先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。

「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス及びMSCI ワールド・業種別・インデックスの1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍)：株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想：作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。

※3期先予想PER(倍)：現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

### 本資料で使用している指数について

●先進国株式=MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。

●先進国ヘルスケア株式=MSCI ワールド ヘルスケア インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国の株式のうちヘルスケアセクターに分類された銘柄で構成されています。各指数に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

### 本資料のご利用にあたっての注意事項等

■本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。